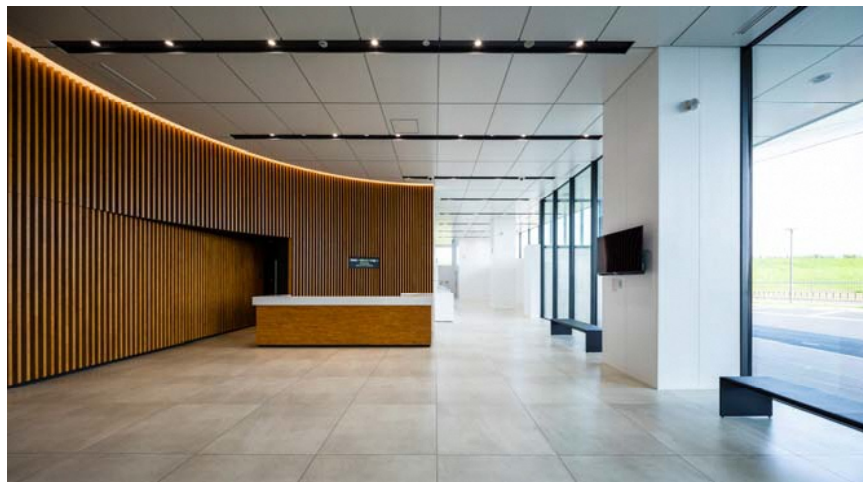


表彰対象建築物名称	浜松ホトニクス株式会社新貝工場 2 棟			<p>環境配慮の内容とその目的</p> <p>■室内環境対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空気調和機により除湿・加湿を適切に行い室内環境を維持</li> <li>・トップライト等を設置し、積極的な昼光利用</li> <li>・全館 LED 照明とし、内装計画とともに空間の明るさ感を考慮した室内環境</li> </ul> <p>■サービス性能対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天井高さ 3.4m・3.0m、各階天井裏メンテナンススペース（ISS）を確保し、更新性を高めた製造エリア</li> <li>・来訪者の見学や装置搬入を考慮した幅広の通路計画</li> <li>・天井高さ 3.0m確保し、レイアウト自由度を高めた無柱の事務室</li> <li>・社内の横断的な連携を高め、天竜川越しに富士山を望む打合せラウンジ</li> <li>・屋外ダクト等には耐用年数の長いステンレスダクトやガルバリウムダクトを採用</li> <li>・雨水・井水の雑用水利用</li> <li>・浸水に備えた止水板・防水壁と非常用発電設備の屋上設置</li> </ul> <p>■室外環境（敷地内）対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住宅地をはじめとする周辺環境に配慮し、メンテナンスのための設備バルコニーは敷地外周部を避けて配置</li> <li>・近隣との緩衝帯として、敷地外周部を緑化</li> <li>・排熱を出す室外機の屋上設置</li> </ul> <p>■エネルギー対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高効率空調機器の採用</li> <li>・エネルギー消費を適切に計量、監視する設備を設置</li> <li>・人感センサーによる消費電力の低減</li> <li>・外断熱（断熱パネル）の外壁とペアガラスによる高い断熱性の確保</li> <li>・自家消費型の太陽光発電パネル（186KW）の設置</li> <li>・トップライト等による積極的な自然採光</li> </ul> <p>■資源・マテリアル対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・節水型衛生器具の採用</li> <li>・オゾン層破壊係数=0の冷媒を採用</li> <li>・雨水を濾過し便所洗浄水等に利用</li> </ul> <p>■敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気エネルギー源の機器、空冷機器を採用</li> </ul>
建設地	浜松市南区新貝町 1128			
建築主	浜松ホトニクス株式会社 代表取締役社長 晝馬 明			
設計者	株式会社山下設計 中部支社 小林 史			
延べ面積	15,631 m <sup>2</sup>	規模	地上 4 F	
構造	鉄骨造			
用途	工場			
CASBEE評価	A	BEE値	2.6	
建築物写真				
建築主として求めた環境配慮に対する総合的なコンセプト	<p>① 地域環境・地球環境に配慮した生産拠点</p> <p>② 地震や風水害等の自然災害への配慮</p> <p>③ 従業員が働きやすいアメニティの高い空間づくり</p> <p>④ 変化に対応しやすく、建物メンテナンスを軽減した工場の実現</p> <p>⑤ 太陽光・雨水など自然エネルギーの活用</p>			

環境配慮の内容とその目的（補足資料）

■ 自然光を取り入れた明るいエントランスホール



■ 自家消費型の太陽光発電パネル（186kw）



■ 更新性を高めた製造エリア



■ 眺望を活かしたラウンジ

